

|    |               |    |   |
|----|---------------|----|---|
| 26 | 6年「比例と反比例」    | 組  | 番 |
|    | 比例の関係を使って考えよう | 名前 |   |

6年1組では、国語の学習で盛岡市のパンフレットを作ることになりました。



自分の住んでいる盛岡市だけれど、知らないことがありそうだね。

まもるさん

パンフレットをたくさん印刷して、交流のある学校の人に送らしましょう。



はなえさん

担任の北野先生は、印刷に使う紙を、まず1200枚用意することにしました。この紙の10枚、20枚の重さをはかったら、次のようになりました。

印刷に使う紙の枚数と重さ

|          |    |    |   |
|----------|----|----|---|
| 枚数 x (枚) | 10 | 20 | 1200  |
| 重さ y (g) | 35 | 70 | <input style="border: 2px solid red;" type="text"/> |



この紙を、全部数えないで1200枚用意するには、どうすればよいでしょうか。

北野先生

まもるさんは、紙の重さは枚数に比例するとみて次のように考えました。



まもるさんの考え

式  $35 \div 10 = 3.5$

$3.5 \times 1200 = 4200$

答え (4200 g)

紙の枚数とその重さは比例しているのだから、枚数を全部数えなくても、全体の重さを調べれば全部の枚数が求められる。

まず、この紙10枚の重さから1枚の重さを求めると、 $35 \div 10 = 3.5$  となり、1枚の重さは3.5gになる。

次に、この紙1枚の重さをもとに1200枚分の重さを求めると、 $3.5 \times 1200 = 4200$  となり、1200枚の重さは4200gになる。

したがって、4200g分の紙を用意すればよい。



6年2組でもパンフレットを作りました。

完成したパンフレットの部数とその重さの関係は次のようになっています。

完成したパンフレットの部数と紙の重さ

|            |       |     |                      |
|------------|-------|-----|----------------------|
| 部数 $x$ (部) | 3     | 10  | <input type="text"/> |
| 重さ $y$ (g) | 136.5 | 455 | 4095                 |

- (3) パンフレットの印刷に使った紙の重さは全部で 4095 g です。  
完成したパンフレットは何部になりますか。  
下のキーワードと、言葉や数、式を使って説明しましょう。

キーワード

重さ      部数      比例

(説明)